

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

京丹後市長 中山 泰

市町村名 (市町村コード)	京丹後市 (262129)
地域名 (地域内農業集落名)	弥栄町黒部地区 (黒部集落、船木集落、小田集落、国久集落、井辺集落、黒部団地、井辺団地)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年10月18日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・水田においては、担い手を中心に水稻栽培を行っている。畑においては、また、国営開発農地では、加工契約野菜等の栽培が行われている。

・少子高齢化等による後継者不足に伴い、規模縮小、離農、遊休農地の増加が見込まれるが、農地を引き受ける担い手が少ないため、空き農地が発生した際の受け手の確保が課題である。

・耕作農地が分散しているため営農効率が悪く、農地の集積・集約化が図れていない。

・中山間地を含め、鳥獣被害が多発し、離農者の増加や営農意欲の低下が危惧される。

・農業用施設の老朽化による修繕等の維持管理費の増大が懸念される。

・国営開発農地では、新規就農者の受け入れにより担い手の若返りが図られている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

・水田においては、水稻栽培を中心としつつ、JAや丹後農業改良普及センター等と連携し、高収益作物、特別栽培米、有機農業等の環境にも配慮した取組の検討を進めるとともに、既存販路も維持しつつ、新たな販路の開拓を検討する。

・国営開発農地等においては、JA等の関係機関と連携し、既存販路も維持しつつ、新たな販路の開拓を検討する。また、老朽化した施設についても整備等の検討を進める。

・担い手だけでなく、地域住民にも当事者意識を持ってもらい、農業を通じた地域づくりで地域全体の活性化を図り、農地の維持管理を進める。

・耕作地の集積と収穫関係機械の共同利用により、世代複合的に耕地活用を行う。

・集落を超えて、農作業の効率化と省力化を図るための組織の立ち上げの検討を進める。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	171.75 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	161.70 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	4.27 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
担い手への農地集積・集約を図り、効率的な農地利用を進めつつ、農業を担う者も農地利用を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理事業の活用を検討し、担い手への農地集積を行い、段階的に集約化する。
(3)基盤整備事業への取組方針
農業情勢を鑑み、地区、地権者、担い手などの意向を考慮の上で検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、関係機関と連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
担い手の意向を踏まえ、検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

①各集落毎だけでなく、地域一体的に鳥獣害防護柵等の設置を進め、担い手が営農しやすい環境を整える。
 ②特別栽培米や有機農業等の取組について、検討を進める。
 ⑦多面的機能支払交付金を活用し、農地、水路、農道等の地域資源の保全・管理を進める。また、活動組織の広域化の検討を進める。
 ⑦中山間地域においては、中山間地域直接支払制度を活用し、農用地等の地域資源の保全・管理を進める。
 ⑧老朽化した用排水路、井堰、揚水機場、ため池、農道等の長寿命化等対策を進める。
 ⑩新規就農者を受け入れ、集落の若返りを図り、集落全体で農地を守る取り組みを進める。